

## 委員会設置趣旨及び検討スケジュール

### 設置趣旨

南海トラフ地震や千島海溝での巨大地震の切迫性が高まる中、人口や産業が集積する港湾における強靱化に向け、耐震強化岸壁の整備や構造物の粘り強い化、港湾 BCP の作成・訓練の実施など、ソフト・ハード一体となった防災・減災対策を推進しているところである。

一方、こうした取り組みは、陸側・設置者側から見た対応が主であり、海側・船舶側から見た対応には、更なる改善の余地があると認識している。

具体的には、大地震・津波発生時には船舶の安全確保のため沖合退避が基本とされているが、入船形式の船舶の安全・迅速な離岸・避泊が可能か、万一、沖合避難が間に合わない場合、耐震強化岸壁等への安全な船舶停留が可能か、漂流船舶が陸上施設に衝突し損傷を与える可能性がないか等のリスクが懸念される。

現に 3. 1 1 東日本大震災では、がれきや車両、漂流船舶など大量の津波漂流物や衝突、火災の発生、港外避泊が間に合わない船舶の発生等が数多く見受けられた。

こうした事態が仮に三大湾等で生じた場合、基幹的物流やエネルギー産業等のもとより、日本の社会経済全体にも甚大な影響を与えることが懸念される。

このため今般、主に海・船の視点から見た検討会を新たに立ち上げ、関係者ととも到大規模地震・津波発生時に想定される海側・船舶側から見たリスクを洗い出し、ソフト・ハード一体となった総合的なリスク軽減策等を早急に検討することとした。

### スケジュール

6月30日（火）第1回委員会開催

（論点整理、検討項目、検討スケジュール）

秋頃 第2回委員会開催（対策案の骨子案作成）

年度内 第3回委員会開催（対策案の取りまとめ）